



「あいさつ・掃除・後始末」で心づくり

今年の夏休みは行動制限がありませんでしたが、変異した BA.5 新型コロナウイルス感染症が拡大し気が抜けない日々でした。また、大雨での災害や熱中症など自然の猛威にも対応が必要でした。そんな不安もある中ですが、2 学期がスタートし、心も体も一回り大きくなった子どもたちの元気な声が学校に戻り、活気にあふれています。

2 学期は体育大会や音楽会、尼崎市の連合体育大会や音楽会、更に自然学校など各学年においても様々な行事が計画されており、子ども達の活躍の場が沢山あります。しかし、BA.5 は感染力が強く子どもへの感染が懸念されており、学校が始まり今後どのような事態になるかはわかりません。学校としましては、引き続き基本的な感染防止対策に努め、今できることは何かを考え教育活動を進めてまいります。感染防止のため計画が変更や中止になることもあり得ますが、お許しください。ご家庭でも引き続き検温や感染予防に努めていただくとともに教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いします。

5 月の学校便りで書きました教育目標の実現のために特に力を入れている**豊かな心づくり**。具体的に「あいさつ・掃除・後始末」に取り組んでいます。子どもたちにも日頃から繰り返し伝えており、気持ちのよいあいさつ・もくもく掃除はできるようになってきています。後始末は、自分のものを片付けることはできています。しかし、みんなが使うもの・場所を大切に使い、次の人が気持ちよく使えるように片付けることは徹底できていません。具体的には、誰もが毎日使うトイレ。トイレ用のスリッパに履き替えてトイレを使用しますが、なかなかスリッパがそろいません。そろっていないと、更に次の人ももっと乱れて使ってしまう。悲しいなと思っていると、それをそっとそろえている人を見つけ、心が温かくなる場面もあります。そんなことを朝会で話しながら、子どもたちへ詩を紹介しました。

「はきものをそろえると 心もそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない

だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげましょう

そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう」

(円福寺住職 藤本幸邦さん)

はきものがそろうことは整った心を映し出しています。心がそろっていると人にやさしくなります。世界中の人の心がそろい、優しさであふれるといいですね。まず、難波小学校からはきものをそろえ、心をそろえ、優しさであふれる学校にしていきたいです。

トイレの床を夏休み中に校務員さんが磨いてくれました。感謝です。しっかり掃除をし、丁寧に使うよう子どもたちに伝えていきます。